

令和6年度

事業計画書



一般財団法人京都市都市整備公社

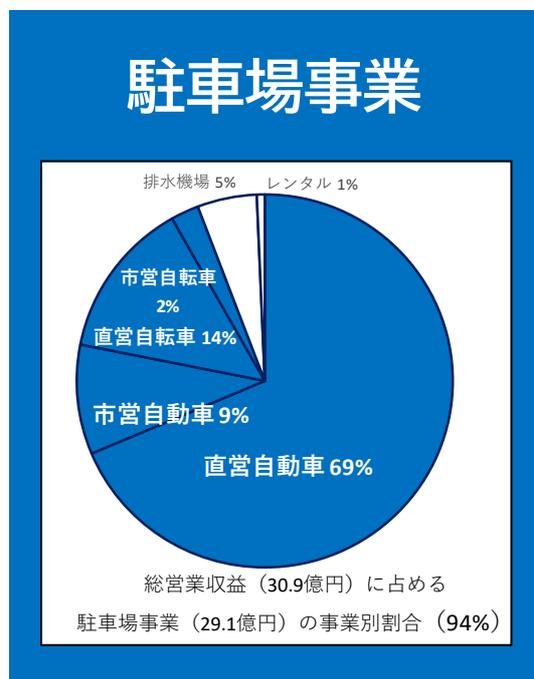
1 事業運営方針

コロナ禍で駐車場利用が大幅に減少し令和2年度から2期連続の赤字決算を受け、徹底したコストカットや従来からのサービス提供について発想の転換を図り、お客様の利便向上と業務効率化を進め、個々の駐車場・駐輪場の特性を活かした駐車場の品質向上と潜在需要の開拓に取り組んだこと等もあり、令和5年度は約2億円の黒字決算見込となりました。

令和6年度については、新たな収入源の確保を図るべく積極的な公募案件の獲得や効率の良いコインパーキングの新設とレンタサイクル事業拡大に注力し、外的要素にも柔軟に対応可能な安定した経営基盤を確立させていくと共に、いま一度原点回帰し、職員一人ひとりのスキルアップを図り、競合他社に負けない組織作りに取り組むたいと考えております。

これからも安定した経営基盤の確立と全てのステークホルダーとの良好な関係を構築し、市民の皆様が必要とされる企業を目指してまいります。

2 事業計画



【環境予測】

景気の回復基調を受けて駐車場需要が増加する一方で新規事業者の参入増加も予想され営業強化が必要。

【事業戦略】 営業収益 29億1千万円

営業収益の9割超を占める基幹事業については、駐車場・駐輪場を一体管理する担当係を新設すると共に新規開設・定期管理対応のIT強化により事業全体を強化します。

安定して収益を上げられる駐車場運営と外的要素に柔軟に対応できる駐車場整備の両面からの対策によってリスクに備えます。

【具体的な取り組み】

● 駐車場事業の総合管理

駐車場・駐輪場を総合的に管理する担当係が全体としてのお客様ニーズを把握しつつ、それぞれの駐車場に合った商品開発やサービス提供、新たな管理運営ツールの確立を図ります。

● QRコード決済対応駐車場・駐輪場の拡充

QRコード決済を中心としたキャッシュレス決済対応駐車場・駐輪場を拡充し、お客様の料金支払の利便の向上を図ります。

● 定期管理システムの改良

料金の支払確認やお客様ご自身の契約情報について、インターネット上で24時間いつでも確認可能としたシステムを導入し、新規顧客の獲得と業務の効率化を図ります。

● 収容台数や取扱い車種の再検討

周辺状況の変化により満車状態が続く等、需要と供給が釣り合わない駐車場において収容台数や取扱い車種の見直しを行い、効果的に収入増を図ります。

● 新規駐車場の開設

周辺状況の変化等で不採算が続く駐車場については、早期撤退を視野に入れ、新たな駐車場での機器の再設置を実施します。この機器循環により初期費用を抑え、他社との用地獲得競争に打ち勝ち、条件の良い駐車場開設を加速します。

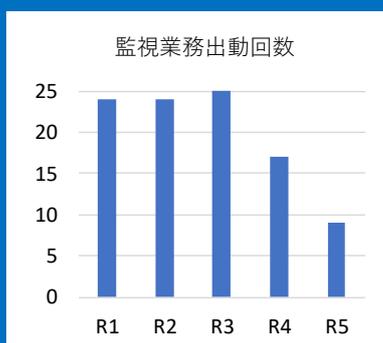
● 公募事業への応募

主に近畿圏の自治体による公募事業（駐車場管理業務等）に積極的に応募し、新たな収入増を図ります。

●行政機関と連携した不法駐輪啓発活動

令和5年度に引き続き、大阪市放置自転車啓発指導員（サイクルサポーター）として、行政や鉄道会社、地元地域と連携した不法駐輪啓発活動に参加し、JRおおさか東線のうちでも特に乗降客数の多いJR淡路駅や、近接する阪急淡路駅周辺では朝の通学通勤時間帯に現地で駐輪場利用を促し、放置自転車ゼロを目指すと同時に収入増対策に取り組んでまいります。

排水機場事業



【環境予測】

発達した雨雲が連なる線状降水帯の発生予測は難しく突発的な大雨と長時間の監視体制に備えた出動対策が必要。

【事業戦略】 営業収益 1億5千万円

保守管理及び監視業務の契約更新が決定しました。受託している京都市排水機場のより安定した管理体制の確立に向け引き続き人的資本投資に注力します。

【具体的な取り組み】

●安定した管理体制に向けた人的強化

専門知識と技術の継承を担う人材を育て、監視体制の安定化を図ります。これまでに培った技術と経験によって要監視業務の必要期間を予測し、常時万全の監視体制を維持します。

レンタル事業



【環境予測】

レンタサイクルに加えシェアサイクルを導入する都市は増加傾向にあり、今後も普及が進むことが予測されます。通勤通学のほか自転車利用が観光客の移動手段として定着しており、駐輪場と自転車の需要が高まっています。

【事業戦略】 営業収益 2千万円

レンタサイクルは貸出手続簡素化と外国語対応を本格稼働させ、提供する自転車の多様化（電動、子ども乗せ等）にも対応します。シェアサイクルはCLEWポート併設駐車を設置拡大させます。

【具体的な取り組み】

● レンタサイクル

京都初の駐車場併設型レンタサイクル「るぼるぼ」をリニューアルし、「くるっとパークレンタサイクル」として市内人気の観光スポット（京都駅、平安神宮、祇園四条）で展開していきます。新たに導入した24時間予約受付対応システムにより、お客様が任意に簡易な操作で手続を完了させることができ、利用率向上による増収だけでなく、お客様の利便性を飛躍的に高めることを目指しています。安全基準を満たした京都市認定レンタサイクルとして、外国語対応サイトを活用して海外からの観光客獲得も図ります。

● シェアサイクル

電動アシスト自転車によるシェアサイクル「^(クルー)CLEW」に事業参画し、これまで以上に駐車場空きスペースに駐輪ポートを併設させ、可能な限り自転車適正配置業務や電動バッテリー交換業務に取り組み、収入増を図ります。

【令和6年度事業計画に基づく損益見込】

(単位 千円)

勘定科目	金額	
【営業収益】		
事業収入	3,056,018	
事業付随収入	38,949	3,094,967
【営業費用】		
事業費	2,226,518	
管理費	686,225	2,912,743
営業利益		182,224
【営業外収益】		
財産貸付収入	10,170	
受取利息	1,104	
雑収入	6,920	18,194
【営業外費用】		
支払利息	1,360	
寄附金	100	1,460
経常利益		198,958
【税引前当期純利益】		198,958
【法人税等】		610
【当期純利益】		198,348